



## 東神楽町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化を起因とする気候変動の影響により、世界各地で猛暑や大雨、大規模な干ばつ等の異常気象が多発しており、その対策は喫緊の課題となっています。

2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃以内に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることが必要」とされています。

また、我が国でも、2020年10月に政府が「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。

東神楽町では、第8次東神楽町総合計画において「花と緑に包まれた美しく安全なまちづくり」を基本目標として掲げており、目標達成に向けては、自然環境の保全やごみの減量化、再生可能エネルギーの導入など、町民・事業者・町が協働して積極的に脱炭素化に取り組むことが不可欠です。

ここに東神楽町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和4年3月25日

東神楽町長 山本 進